

ダイワ・インドネシア・ ルピア債オープン (毎月分配型)

★当ファンドの仕組みは次の通りです。

商 品 分 類	追加型投信／海外／債券	
信 託 期 間	約10年間（2010年10月18日～2020年10月19日）	
運 用 方 針	信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざして運用を行ないます。	
主要投資対象	ベビーファンド	ダイワ・インドネシア・ルピア債マザーファンドの受益証券
	ダイワ・インドネシア・ルピア債マザーファンド	インドネシア・ルピア建債券
マザーファンドの運用方法	①主として、インドネシア・ルピア建債券に投資することにより、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざして運用を行ないます。 ②投資にあたっては、以下の方針を基本として運用を行ないます。 イ. 投資対象は、インドネシアの政府および政府関係機関ならびに国際機関等が発行する債券とします。 ロ. 金利や物価の動向、経済情勢や市場環境等を勘案し、ポートフォリオを構築します。 ハ. 流動性を確保するため、インドネシア・ルピア以外の通貨建ての債券に投資を行なう場合があります。 ニ. 運用の効率化をはかるため、為替予約取引および直物為替先渡取引を行なう場合があります。 ③為替変動リスクを回避するための為替ヘッジは原則として行ないません。	
組 入 制 限	ベビーファンドのマザーファンド組入上限比率	無制限
	マザーファンドの株式組入上限比率	純資産総額の10%以下
分 配 方 針	分配対象額は、経費控除後の配当等収益と売買益（評価益を含みます。）等とし、原則として、継続的な分配を行なうことを目標に分配金額を決定します。ただし、分配対象額が少額の場合には、分配を行なわないことがあります。	

当ファンドは、ファミリーファンド方式で運用を行ないます。ファミリーファンド方式とは、受益者からの資金をまとめてベビーファンド（当ファンド）とし、その資金を主としてマザーファンドの受益証券に投資して、実質的な運用をマザーファンドで行なう仕組みです。

運用報告書(全体版)

第73期	（決算日	2016年11月17日）
第74期	（決算日	2016年12月19日）
第75期	（決算日	2017年 1 月17日）
第76期	（決算日	2017年 2 月17日）
第77期	（決算日	2017年 3 月17日）
第78期	（決算日	2017年 4 月17日）

受益者のみなさまへ

毎々、格別のご愛顧にあずかり厚くお礼申し上げます。

さて、「ダイワ・インドネシア・ルピア債オープン（毎月分配型）」は、このたび、第78期の決算を行ないました。

ここに、第73期～第78期中の運用状況をご報告申し上げます。

今後とも一層のお引立てを賜りますよう、お願い申し上げます。

大和投資信託

Daiwa Asset Management

東京都千代田区丸の内一丁目9番1号

お問い合わせ先（コールセンター）

TEL 0120-106212

（営業日の9:00～17:00）

<http://www.daiwa-am.co.jp/>

最近30期の運用実績

決 算 期	基 準 価 額			J Pモルガン G B IーE M インドネシア（円換算）		公 社 債 組入比率	純 資 産 額
	（分配落）	税 込 金 分 配	期 騰 落 率	（参考指数）	期 騰 落 率		
	円	円	%		%	%	百万円
49期末（2014年11月17日）	10,035	60	13.4	13,450	13.9	97.6	5,463
50期末（2014年12月17日）	9,369	60	△ 6.0	12,739	△ 5.3	92.5	4,948
51期末（2015年 1月19日）	10,030	60	7.7	13,726	7.7	97.5	5,243
52期末（2015年 2月17日）	10,180	60	2.1	13,988	1.9	97.3	5,226
53期末（2015年 3月17日）	9,973	60	△ 1.4	13,784	△ 1.5	97.9	5,069
54期末（2015年 4月17日）	10,012	60	1.0	13,991	1.5	91.7	5,031
55期末（2015年 5月18日）	9,573	60	△ 3.8	13,474	△ 3.7	95.4	4,873
56期末（2015年 6月17日）	9,299	60	△ 2.2	13,156	△ 2.4	96.8	4,671
57期末（2015年 7月17日）	9,622	60	4.1	13,721	4.3	97.4	4,813
58期末（2015年 8月17日）	8,903	60	△ 6.8	12,942	△ 5.7	95.6	4,309
59期末（2015年 9月17日）	7,926	60	△ 10.3	11,556	△ 10.7	96.4	3,622
60期末（2015年10月19日）	8,697	60	10.5	12,896	11.6	95.7	3,926
61期末（2015年11月17日）	8,812	60	2.0	13,148	2.0	95.7	3,845
62期末（2015年12月17日）	8,442	60	△ 3.5	12,561	△ 4.5	97.4	3,600
63期末（2016年 1月18日）	8,348	60	△ 0.4	12,647	0.7	96.7	3,489
64期末（2016年 2月17日）	8,630	60	4.1	13,278	5.0	90.7	3,467
65期末（2016年 3月17日）	8,607	60	0.4	13,364	0.6	92.3	3,340
66期末（2016年 4月18日）	8,598	60	0.6	13,400	0.3	96.0	3,261
67期末（2016年 5月17日）	8,472	60	△ 0.8	13,284	△ 0.9	97.1	3,188
68期末（2016年 6月17日）	8,155	60	△ 3.0	12,932	△ 2.6	97.2	2,959
69期末（2016年 7月19日）	8,574	60	5.9	13,749	6.3	96.4	3,089
70期末（2016年 8月17日）	8,233	60	△ 3.3	13,332	△ 3.0	96.2	2,981
71期末（2016年 9月20日）	8,265	60	1.1	13,488	1.2	94.7	2,957
72期末（2016年10月17日）	8,426	60	2.7	13,873	2.9	96.2	3,088
73期末（2016年11月17日）	8,082	60	△ 3.4	13,592	△ 2.0	95.0	3,037
74期末（2016年12月19日）	8,627	60	7.5	14,617	7.5	97.8	3,154
75期末（2017年 1月17日）	8,554	60	△ 0.2	14,610	△ 0.1	97.4	3,078
76期末（2017年 2月17日）	8,568	60	0.9	14,733	0.8	96.6	3,011
77期末（2017年 3月17日）	8,509	60	0.0	14,842	0.7	96.4	2,945
78期末（2017年 4月17日）	8,368	60	△ 1.0	14,640	△ 1.4	96.7	2,888

（注1）基準価額の騰落率は分配金込み。

（注2）J Pモルガン G B IーE M インドネシア（円換算）は、J Pモルガン G B IーE M インドネシア（インドネシア・ルピアベース）をもとに円換算し、当ファンド設定日を10,000として大和投資信託が計算したものです。J Pモルガン G B IーE M インドネシア（インドネシア・ルピアベース）は、信頼性が高いとみなす情報に基づき作成していますが、J.P. Morganはその完全性・正確性を保証するものではありません。本指数は許諾を受けて使用しています。J.P. Morganからの書面による事前承認なしに本指数を複製・使用・頒布することは認められていません。Copyright 2016, J.P. Morgan Chase & Co. All rights reserved.

（注3）海外の指数は、基準価額への反映を考慮して、現地前営業日の終値を採用しています。

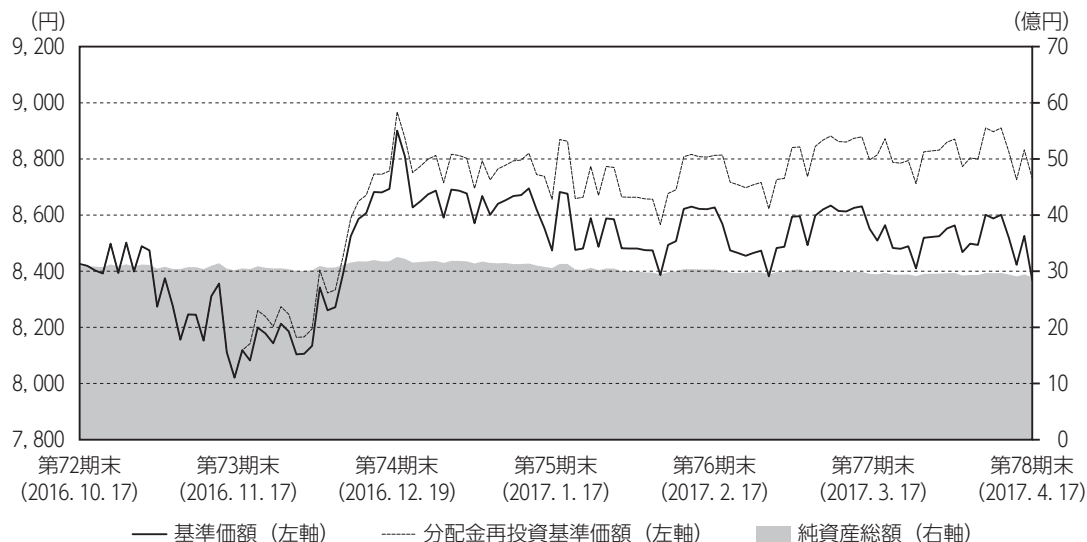
（注4）公社債組入比率は、マザーファンドの組入比率を当ファンドベースに換算したものを含みます。

（注5）公社債組入比率は新株予約権付社債券（転換社債券）および債券先物を除きます。



運用経過

基準価額等の推移について



* 分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものであり、お客さまの損益の状況を示すものではありません。

* 分配金を再投資するかどうかについては、お客さまが利用するコースにより異なります。また、分配金の課税条件は、ファンドの購入価額により異なります。

基準価額・騰落率

第73期首：8,426円

第78期末：8,368円（既払分配金360円）

騰落率：3.6%（分配金再投資ベース）

基準価額の主な変動要因

インドネシア・ルピア建ての債券に投資した結果、債券価格は下落しましたが、為替相場が上昇したことや債券の利息収入が主なプラス要因となり、基準価額は上昇しました。くわしくは「投資環境について」をご参照ください。

ダイワ・インドネシア・ルピア債オープン（毎月分配型）

	年 月 日	基 準 価 額		J Pモルガン GB I－EM インドネシア（円換算）		公 社 債 組 入 比 率
			騰 落 率	(参考指数)	騰 落 率	
第73期	(期首) 2016年10月17日	円 8,426	% —	13,873	% —	% 96.2
	10月末	8,274	△ 1.8	13,724	△ 1.1	96.6
	(期末) 2016年11月17日	8,142	△ 3.4	13,592	△ 2.0	95.0
第74期	(期首) 2016年11月17日	8,082	—	13,592	—	95.0
	11月末	8,134	0.6	13,569	△ 0.2	96.4
	(期末) 2016年12月19日	8,687	7.5	14,617	7.5	97.8
第75期	(期首) 2016年12月19日	8,627	—	14,617	—	97.8
	12月末	8,571	△ 0.6	14,522	△ 0.6	97.5
	(期末) 2017年 1 月17日	8,614	△ 0.2	14,610	△ 0.1	97.4
第76期	(期首) 2017年 1 月17日	8,554	—	14,610	—	97.4
	1 月末	8,482	△ 0.8	14,453	△ 1.1	97.1
	(期末) 2017年 2 月17日	8,628	0.9	14,733	0.8	96.6
第77期	(期首) 2017年 2 月17日	8,568	—	14,733	—	96.6
	2 月末	8,483	△ 1.0	14,599	△ 0.9	96.4
	(期末) 2017年 3 月17日	8,569	0.0	14,842	0.7	96.4
第78期	(期首) 2017年 3 月17日	8,509	—	14,842	—	96.4
	3 月末	8,552	0.5	14,921	0.5	96.2
	(期末) 2017年 4 月17日	8,428	△ 1.0	14,640	△ 1.4	96.7

(注) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比。

投資環境について

(2016. 10. 18 ~ 2017. 4. 17)

■インドネシア債券市況

インドネシア債券市況は、年限によりまちまちの動きとなりました。

当作成期間の前半は、米国の大統領選挙においてトランプ氏が勝利すると、同氏の政策が財政赤字の拡大やインフレの加速をもたらすとの観測から世界的に金利が上昇したことに連れて、インドネシアの金利も上昇しました。当作成期間の後半は、大手格付会社がインドネシアの見通しを「ポジティブ」に引き上げたことなどが金利低下の材料となりました。2017年3月のFOMC（米国連邦公開市場委員会）において市場の予想通り利上げが実施されましたが、今後の利上げペースについては市場が警戒するほどの積極的な内容とはならず、米国の金利は低下しました。この動きに連動し、インドネシアの金利も低下傾向となりました。

■為替相場

インドネシア・ルピアは対米ドルでは下落、対円では上昇しました。

当作成期間の前半は、米国の大統領選挙においてトランプ氏が勝利し、同氏の経済政策への期待感などから市場のリスク選好度が強まり円安が進展したため、対円でルピアは上昇しました。米ドル高観測により新興国市場の資金流出懸念が高まったことや、米国のインフレ期待が上昇する中で米国の利上げ観測が強まったことなどは、対米ドルでルピアの下落材料となりました。当作成期間の後半は、米国トランプ大統領の米ドル高けん制発言等や政策不透明感により米ドル安となったことや、米国の早期利上げ観測が後退したことは、ルピアの支援材料となりました。一方で、北朝鮮やシリア情勢をめぐる地政学リスクにより安全資産を求める動きが強まったことは、ルピア安の材料となりました。

前作成期間末における「今後の運用方針」

■当ファンド

「ダイワ・インドネシア・ルピア債マザーファンド」の受益証券を通じて、インドネシア・ルピア建債券に投資し、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざします。

■ダイワ・インドネシア・ルピア債マザーファンド

インドネシアの政府および政府関係機関ならびに国際機関等が発行する債券に投資します。金利水準や物価の動向、経済情勢や市場環境等を勘案し、ポートフォリオを構築します。金利リスク、種別構成を柔軟に調整しつつ、投資妙味の高いインドネシア・ルピア建債券をポートフォリオに組み入れます。

ポートフォリオについて

(2016. 10. 18 ～ 2017. 4. 17)

■当ファンド

「ダイワ・インドネシア・ルピア債マザーファンド」の受益証券を通じて、インドネシア・ルピア建債券に投資し、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざしました。

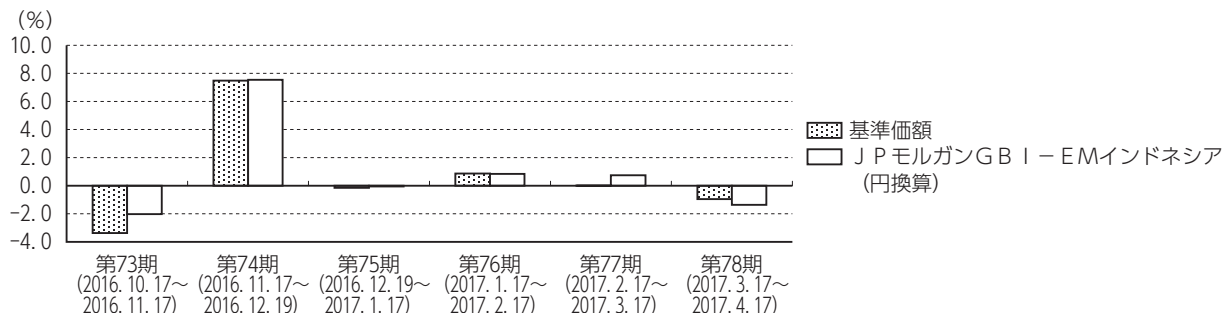
■ダイワ・インドネシア・ルピア債マザーファンド

インドネシア・ルピア建債券に投資し、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざしました。債券ポートフォリオ全体では、インドネシア国債の組み入れを高位に保ちました。また、国際機関債の組み入れも行ないました。残存構成としては、残存20～25年程度の長期債と残存2年程度の短期債を多く組み入れました。

ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークを設けておりません。

以下のグラフは当ファンドの基準価額と参考指数との騰落率の対比です。参考指数はインドネシア債券市場の動向を表す代表的な指数として掲載しております。



分配金について

第73期から第78期の1万口当り分配金（税込み）はそれぞれ60円といたしました。

収益分配金の決定根拠は下記の「収益分配金の計算過程（1万口当り）」をご参照ください。

なお、留保益につきましては、運用方針に基づき運用させていただきます。

分配原資の内訳（1万口当り）

項 目	第73期	第74期	第75期	第76期	第77期	第78期
	2016年10月18日 ～2016年11月17日	2016年11月18日 ～2016年12月19日	2016年12月20日 ～2017年1月17日	2017年1月18日 ～2017年2月17日	2017年2月18日 ～2017年3月17日	2017年3月18日 ～2017年4月17日
当期分配金（税込み）（円）	60	60	60	60	60	60
対基準価額比率（％）	0.74	0.69	0.70	0.70	0.70	0.71
当期の収益（円）	32	48	35	41	33	34
当期の収益以外（円）	27	11	24	18	26	25
翌期繰越分配対象額（円）	2,330	2,318	2,294	2,276	2,250	2,224

（注1）「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後の有価証券売買等損益」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「収益調整金」および「分配準備積立金」から分配に充当した金額です。

（注2）円未満は切捨てており、当期の収益と当期の収益以外の合計が当期分配金（税込み）に合致しない場合があります。

（注3）当期分配金の対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。

■収益分配金の計算過程（1万口当り）

項 目	第73期	第74期	第75期	第76期	第77期	第78期
(a) 経費控除後の配当等収益	32.74円	48.02円	35.49円	41.92円	33.73円	34.48円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(c) 収益調整金	1,952.69	1,953.68	1,955.31	1,957.54	1,963.56	1,964.56
(d) 分配準備積立金	405.01	376.82	363.29	336.71	313.01	285.81
(e) 当期分配対象額 (a+b+c+d)	2,390.45	2,378.53	2,354.10	2,336.18	2,310.30	2,284.86
(f) 分配金	60.00	60.00	60.00	60.00	60.00	60.00
(g) 翌期繰越分配対象額 (e-f)	2,330.45	2,318.53	2,294.10	2,276.18	2,250.30	2,224.86

(注) 下線を付した該当項目から分配金を計上しています。



今後の運用方針

■当ファンド

「ダイワ・インドネシア・ルピア債マザーファンド」の受益証券を通じて、インドネシア・ルピア建債券に投資し、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざします。

■ダイワ・インドネシア・ルピア債マザーファンド

インドネシアの政府および政府関係機関ならびに国際機関等が発行する債券に投資します。金利水準や物価の動向、経済情勢や市場環境等を勘案し、ポートフォリオを構築します。金利リスク、種別構成を柔軟に調整しつつ、投資妙味の高いインドネシア・ルピア建債券をポートフォリオに組み入れます。

1万口当りの費用の明細

項 目	第73期～第78期 (2016. 10. 18～2017. 4. 17)		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
信 託 報 酬	61円	0. 721%	信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 期中の平均基準価額は8, 492円です。
(投 信 会 社)	(27)	(0. 323)	投信会社分は、ファンドの運用と調査、受託銀行への運用指図、基準価額の計算、目論見書・運用報告書の作成等の対価
(販 売 会 社)	(32)	(0. 377)	販売会社分は、運用報告書等各種書類の送付、口座内での各ファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
(受 託 銀 行)	(2)	(0. 021)	受託銀行分は、運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
売買委託手数料	—	—	売買委託手数料＝期中の売買委託手数料／期中の平均受益権総口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
有価証券取引税	—	—	有価証券取引税＝期中の有価証券取引税／期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
そ の 他 費 用	6	0. 075	その他費用＝期中のその他費用／期中の平均受益権口数
(保 管 費 用)	(4)	(0. 046)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管および資金の送金・資産の移転等に要する費用
(監 査 費 用)	(0)	(0. 004)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
(そ の 他)	(2)	(0. 025)	信託事務の処理等に関するその他の費用
合 計	68	0. 796	

(注 1) 期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。なお、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、このファンドが組み入れているマザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。

(注 2) 金額欄は各項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

(注 3) 比率欄は 1 万口当りのそれぞれの費用金額を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

ダイワ・インドネシア・ルピア債オープン（毎月分配型）

■売買および取引の状況
親投資信託受益証券の設定・解約状況

(2016年10月18日から2017年 4月17日まで)

決 算 期	第 73 期 ～ 第 78 期			
	設 定		解 約	
	□ 数	金 額	□ 数	金 額
	千口	千円	千口	千円
ダイワ・インドネシア・ルピア債マザーファンド	117, 921	161, 535	351, 281	496, 062

(注) 単位未満は切捨て。

■利害関係人との取引状況

当作成期間（第73期～第78期）中における利害関係人との取引はありません。

■組入資産明細表
親投資信託残高

種 類	第72期末	第 78 期 末	
	□ 数	□ 数	評 価 額
	千口	千口	千円
ダイワ・インドネシア・ルピア債マザーファンド	2, 251, 437	2, 018, 076	2, 875, 154

(注) 単位未満は切捨て。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

(2016年11月17日)、(2016年12月19日)、(2017年 1月17日)、(2017年 2月17日)、(2017年 3月17日)、(2017年 4月17日)現在

項 目	第73期末	第74期末	第75期末	第76期末	第77期末	第78期末
(A) 資産	3, 071, 136, 841円	3, 180, 050, 098円	3, 112, 443, 277円	3, 040, 758, 781円	2, 977, 091, 782円	2, 913, 218, 527円
コール・ローン等	44, 680, 655	40, 313, 715	40, 458, 649	17, 762, 551	39, 664, 239	38, 064, 516
ダイワ・インドネシア・ルピア債マザーファンド（評価額）	3, 022, 105, 900	3, 139, 736, 383	3, 063, 583, 839	2, 997, 352, 531	2, 931, 072, 001	2, 875, 154, 011
未収入金	4, 350, 286	—	8, 400, 789	25, 643, 699	6, 355, 542	—
(B) 負債	34, 054, 419	26, 033, 035	33, 959, 215	28, 809, 178	31, 560, 630	24, 459, 408
未払収益分配金	22, 546, 249	21, 936, 460	21, 592, 677	21, 091, 500	20, 770, 706	20, 712, 453
未払解約金	7, 696, 566	111, 174	8, 679, 048	3, 903, 633	7, 363, 371	—
未払信託報酬	3, 790, 403	3, 942, 156	3, 623, 971	3, 729, 665	3, 323, 581	3, 623, 696
その他未払費用	21, 201	43, 245	63, 519	84, 380	102, 972	123, 259
(C) 純資産総額（A－B）	3, 037, 082, 422	3, 154, 017, 063	3, 078, 484, 062	3, 011, 949, 603	2, 945, 531, 152	2, 888, 759, 119
元本	3, 757, 708, 203	3, 656, 076, 802	3, 598, 779, 662	3, 515, 250, 019	3, 461, 784, 474	3, 452, 075, 563
次期繰越損益金	△ 720, 625, 781	△ 502, 059, 739	△ 520, 295, 600	△ 503, 300, 416	△ 516, 253, 322	△ 563, 316, 444
(D) 受益権総口数	3, 757, 708, 203□	3, 656, 076, 802□	3, 598, 779, 662□	3, 515, 250, 019□	3, 461, 784, 474□	3, 452, 075, 563□
1万口当り基準価額（C／D）	8, 082円	8, 627円	8, 554円	8, 568円	8, 509円	8, 368円

* 第72期末における元本額は3, 665, 832, 719円、当作成期間（第73期～第78期）中における追加設定元本額は281, 145, 200円、同解約元本額は494, 902, 356円です。

* 第78期末の計算口数当りの純資産額は8, 368円です。

* 第78期末の純資産総額が元本額を下回っており、その差額は563, 316, 444円です。

■投資信託財産の構成

2017年 4月17日現在

項 目	第 78 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
ダイワ・インドネシア・ルピア債マザーファンド	2, 875, 154	98. 7
コール・ローン等、その他	38, 064	1. 3
投資信託財産総額	2, 913, 218	100. 0

(注 1) 評価額の単位未満は切捨て。

(注 2) 外貨建資産は、期末の時価を対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートで邦貨換算したものです。なお、4月17日における邦貨換算レートは、1アメリカ・ドル＝108. 29円、100インドネシア・ルピア＝0. 82円です。

(注 3) ダイワ・インドネシア・ルピア債マザーファンドにおいて、第78期末における外貨建純資産（2, 913, 617千円）の投資信託財産総額（2, 924, 647千円）に対する比率は、99. 6% です。

■損益の状況

第73期 自 2016年10月18日 至 2016年11月17日		第75期 自 2016年12月20日 至 2017年 1 月17日		第77期 自 2017年 2 月18日 至 2017年 3 月17日		
第74期 自 2016年11月18日 至 2016年12月19日		第76期 自 2017年 1 月18日 至 2017年 2 月17日		第78期 自 2017年 3 月18日 至 2017年 4 月17日		
項 目	第73期	第74期	第75期	第76期	第77期	第78期
(A) 配当等収益	△ 798円	△ 907円	△ 692円	△ 769円	△ 673円	△ 907円
受取利息	6	13	8	12	12	2
支払利息	△ 804	△ 920	△ 700	△ 781	△ 685	△ 909
(B) 有価証券売買損益	△ 100,935,661	224,962,308	△ 896,537	29,841,864	3,623,538	△ 24,166,808
売買益	693,083	228,239,565	376,059	30,650,901	4,016,916	351,654
売買損	△ 101,628,744	△ 3,277,257	△ 1,272,596	△ 809,037	△ 393,378	△ 24,518,462
(C) 信託報酬等	△ 3,811,604	△ 3,964,200	△ 3,644,245	△ 3,750,526	△ 3,342,173	△ 3,643,983
(D) 当期損益金 (A + B + C)	△ 104,748,063	220,997,201	△ 4,541,474	26,090,569	280,692	△ 27,811,698
(E) 前期繰越損益金	△ 715,057,568	△ 817,530,045	△ 606,176,616	△ 613,849,550	△ 588,998,055	△ 605,805,650
(F) 追加信託差損益金	121,726,099	116,409,565	112,015,167	105,550,065	93,234,747	91,013,357
(配当等相当額)	(733,764,420)	(714,281,103)	(703,676,271)	(688,127,267)	(679,742,800)	(678,181,804)
(売買損益相当額)	(△ 612,038,321)	(△ 597,871,538)	(△ 591,661,104)	(△ 582,577,202)	(△ 586,508,053)	(△ 587,168,447)
(G) 合計 (D + E + F)	△ 698,079,532	△ 480,123,279	△ 498,702,923	△ 482,208,916	△ 495,482,616	△ 542,603,991
(H) 収益分配金	△ 22,546,249	△ 21,936,460	△ 21,592,677	△ 21,091,500	△ 20,770,706	△ 20,712,453
次期繰越損益金 (G + H)	△ 720,625,781	△ 502,059,739	△ 520,295,600	△ 503,300,416	△ 516,253,322	△ 563,316,444
追加信託差損益金	121,726,099	116,409,565	112,015,167	105,550,065	93,234,747	91,013,357
(配当等相当額)	(733,764,420)	(714,281,103)	(703,676,271)	(688,127,267)	(679,742,800)	(678,181,804)
(売買損益相当額)	(△ 612,038,321)	(△ 597,871,538)	(△ 591,661,104)	(△ 582,577,202)	(△ 586,508,053)	(△ 587,168,447)
分配準備積立金	141,952,661	133,391,764	121,922,980	112,010,081	99,264,879	89,857,446
繰越損益金	△ 984,304,541	△ 751,861,068	△ 754,233,747	△ 720,860,562	△ 708,752,948	△ 744,187,247

(注1) 信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しております。

(注2) 追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。

(注3) 収益分配金の計算過程は「収益分配金の計算過程（総額）」の表をご参照ください。

■収益分配金の計算過程（総額）

項 目	第73期	第74期	第75期	第76期	第77期	第78期
(a) 経費控除後の配当等収益	12,305,993円	17,558,524円	12,775,188円	14,738,318円	11,677,749円	11,904,762円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	0	0	0	0	0	0
(c) 収益調整金	733,764,420	714,281,103	703,676,271	688,127,267	679,742,800	678,181,804
(d) 分配準備積立金	152,192,917	137,769,700	130,740,469	118,363,263	108,357,836	98,665,137
(e) 当期分配対象額 (a + b + c + d)	898,263,330	869,609,327	847,191,928	821,228,848	799,778,385	788,751,703
(f) 分配金	22,546,249	21,936,460	21,592,677	21,091,500	20,770,706	20,712,453
(g) 翌期繰越分配対象額 (e - f)	875,717,081	847,672,867	825,599,251	800,137,348	779,007,679	768,039,250
(h) 受益権総口数	3,757,708,203口	3,656,076,802口	3,598,779,662口	3,515,250,019口	3,461,784,474口	3,452,075,563口

収 益 分 配 金 の お 知 ら せ						
1 万口当り分配金	第73期	第74期	第75期	第76期	第77期	第78期
	60円	60円	60円	60円	60円	60円
（単 価）	(8, 082円)	(8, 627円)	(8, 554円)	(8, 568円)	(8, 509円)	(8, 368円)

●〈分配金再投資コース〉をご利用の方の税引き分配金は、上記（ ）内の基準価額に基づいて自動的に再投資いたしました。

分配金の課税上の取扱いについて

- ・分配金には、課税扱いとなる「普通分配金」と、非課税扱いとなる「元本払戻金（特別分配金）」があります。
- ・分配落ち後の基準価額が個別元本と同額または個別元本を上回る場合には、分配金の全額が普通分配金となります。
- ・分配落ち後の基準価額が個別元本を下回る場合には、下回る部分の額が元本払戻金（特別分配金）、残りの額が普通分配金です。
- ・元本払戻金（特別分配金）が発生した場合は、分配金発生時における個々の受益者の個別元本から当該元本払戻金（特別分配金）を控除した額が、その後の個々の受益者の個別元本となります。
- ・普通分配金については、20.315％（所得税15％、復興特別所得税0.315％および地方税5％）の税率による源泉徴収が行なわれ、申告不要制度が適用されます。なお、確定申告を行ない、申告分離課税または総合課税（配当控除の適用はありません。）を選択することもできます。
- ・法人の受益者の場合、税率が異なります。
- ・税法が改正された場合等には、上記の内容が変更になることがあります。くわしくは、販売会社にお問い合わせください。
- ・課税上の取扱いの詳細につきましては、税務専門家等にご確認されることをお勧めします。

当ファンドは少額投資非課税制度「NISA（ニーサ）」および未成年者少額投資非課税制度「ジュニアNISA」の適用対象です。非課税口座における取扱いについては販売会社にお問い合わせください。

<補足情報>

当ファンド（ダイワ・インドネシア・ルピア債オープン（毎月分配型））が投資対象としている「ダイワ・インドネシア・ルピア債マザーファンド」の決算日（2016年10月17日）と、当ファンドの決算日が異なっておりますので、当ファンドの第78期の決算日（2017年4月17日）現在におけるダイワ・インドネシア・ルピア債マザーファンドの組入資産の内容等を12ページに併せて掲載いたしました。

■ダイワ・インドネシア・ルピア債マザーファンドの主要な売買銘柄
公 社 債

（2016年10月18日から2017年4月17日まで）

買 付		売 付	
銘 柄	金 額	銘 柄	金 額
EUROPEAN BK RECONSTRUCTION & DEVELOPMENT（国際機関）7.375% 2019/4/15	千円 86,093	Indonesia Treasury Bond（インドネシア）8.75% 2031/5/15	千円 106,587
Indonesia Treasury Bond（インドネシア）8.375% 2034/3/15	66,924	Indonesia Treasury Bond（インドネシア）6.375% 2042/4/15	86,526
Indonesia Treasury Bond（インドネシア）6.375% 2042/4/15	33,900	AFRICAN DEVELOPMENT BK.（国際機関）7% 2017/3/6	85,020
		EUROPEAN BK RECONSTRUCTION & DEVELOPMENT（国際機関）4.23% 2016/12/12	57,751
		Indonesia Treasury Bond（インドネシア）8.375% 2034/3/15	43,406

（注1）金額は受渡し代金（経過利子分は含まれておりません）。
（注2）単位未満は切捨て。

■組入資産明細表

下記は、2017年4月17日現在におけるダイワ・インドネシア・ルピア債マザーファンド（2,052,821千円）の内容です。

(1)外国（外貨建）公社債（通貨別）

2017年4月17日現在								
区 分	額 面 金 額	評 価 額		組入比率	うちBB格 以下組入 率	残 存 期 間 別 組 入 比 率		
		外 貨 建 金 額	邦貨換算金額			5 年 以 上	2 年 以 上	2 年 未 満
インドネシア	千インドネシア・ルピア 354,150,000	千インドネシア・ルピア 346,617,954	千円 2,842,267	% 97.2	% —	% 60.4	% 15.1	% 21.7

（注1）邦貨換算金額は、2017年4月17日現在の時価を対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートで邦貨換算したものです。
（注2）組入比率は、純資産総額に対する評価額の割合。
（注3）額面金額、評価額の単位未満は切捨て。
（注4）評価額および格付情報については金融商品取引業者、価格情報会社等よりデータを入手しています。

(2)外国（外貨建）公社債（銘柄別）

2017年4月17日現在								
区 分	銘 柄	種 類	年 利 率	額 面 金 額	評 価 額		償還年月日	
					外 貨 建 金 額	邦貨換算金額		
インドネシア	Indonesia Treasury Bond	国債証券	8.7500	千インドネシア・ルピア 3,300,000	千インドネシア・ルピア 3,662,769	千円 30,034	2031/05/15	
	Indonesia Treasury Bond	国債証券	6.3750	72,000,000	60,331,680	494,719	2042/04/15	
	Indonesia Treasury Bond	国債証券	6.6250	61,000,000	55,223,300	452,831	2033/05/15	
	Indonesia Treasury Bond	国債証券	8.3750	67,000,000	71,354,330	585,105	2034/03/15	
	Indonesia Treasury Bond	国債証券	8.7500	23,000,000	24,984,210	204,870	2044/02/15	
	EUROPEAN INVESTMENT BANK	特殊債券	7.2000	10,000,000	10,191,700	83,571	2019/07/09	
	EUROPEAN BK RECONSTRUCTION & DEVELOPMENT	特殊債券	9.2500	40,000,000	43,513,200	356,808	2020/12/02	
	EUROPEAN BK RECONSTRUCTION & DEVELOPMENT	特殊債券	7.3750	10,000,000	10,120,200	82,985	2019/04/15	
	INTER-AMERICAN DEVELOPMENT BANK	特殊債券	7.2500	30,000,000	30,165,600	247,357	2017/07/17	
	INTER-AMERICAN DEVELOPMENT BANK	特殊債券	4.1600	17,850,000	17,275,765	141,661	2018/05/24	
	INTER-AMERICAN DEVELOPMENT BANK	特殊債券	5.8100	20,000,000	19,795,200	162,320	2018/09/11	
合 計	銘柄数 金 額	11銘柄		354,150,000	346,617,954	2,842,267		

（注1）邦貨換算金額は、2017年4月17日現在の時価を対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートで邦貨換算したものです。
（注2）額面金額、評価額の単位未満は切捨て。

ダイワ・インドネシア・ルピア債マザーファンド

運用報告書 第6期（決算日 2016年10月17日）

（計算期間 2015年10月20日～2016年10月17日）

ダイワ・インドネシア・ルピア債マザーファンドの第6期にかかる運用状況をご報告申し上げます。

★当ファンドの仕組みは次の通りです。

運用方針	信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざして運用を行ないます。
主要投資対象	インドネシア・ルピア建債券
運用方法	①主として、インドネシア・ルピア建債券に投資することにより、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざして運用を行ないます。 ②投資にあたっては、以下の方針を基本として運用を行ないます。 イ. 投資対象は、インドネシアの政府および政府関係機関ならびに国際機関等が発行する債券とします。 ロ. 金利や物価の動向、経済情勢や市場環境等を勘案し、ポートフォリオを構築します。 ハ. 流動性を確保するため、インドネシア・ルピア以外の通貨建ての債券に投資を行なう場合があります。 ニ. 運用の効率化をはかるため、為替予約取引および直物為替先渡取引を行なう場合があります。 ③為替変動リスクを回避するための為替ヘッジは原則として行ないません。
株式組入制限	純資産総額の10%以下

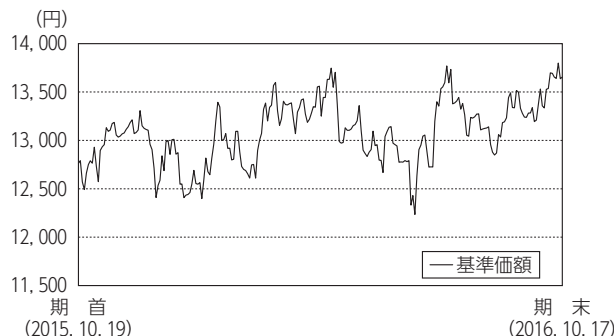
大和投資信託

Daiwa Asset Management

東京都千代田区丸の内一丁目9番1号

<http://www.daiwa-am.co.jp/>

■当期中の基準価額と市況の推移



年 月 日	基 準 価 額		JPMorgan GBI-EM インドネシア (円換算)		公 社 債 組入比率
	円	騰落率 %	(参考指数)	騰落率 %	
(期首) 2015年10月19日	12,762	—	12,896	—	95.3
10月末	12,733	△ 0.2	12,887	△ 0.1	96.4
11月末	13,071	2.4	13,115	1.7	96.6
12月末	12,858	0.8	12,864	△ 0.2	96.8
2016年 1月末	12,962	1.6	13,010	0.9	96.3
2月末	12,752	△ 0.1	12,931	0.3	91.6
3月末	13,293	4.2	13,448	4.3	94.0
4月末	13,374	4.8	13,482	4.5	96.5
5月末	12,947	1.4	13,053	1.2	97.7
6月末	12,904	1.1	13,034	1.1	97.1
7月末	13,444	5.3	13,686	6.1	97.0
8月末	13,184	3.3	13,355	3.6	96.6
9月末	13,357	4.7	13,563	5.2	97.1
(期末) 2016年10月17日	13,654	7.0	13,873	7.6	96.6

(注1) 騰落率は期首比。

(注2) JPMorgan GBI-EM インドネシア (円換算) は、JPMorgan GBI-EM インドネシア (インドネシア・ルピアベース) をもとに円換算し、当ファンド設定日を10,000として大和投資信託が計算したものです。JPMorgan GBI-EM インドネシア (インドネシア・ルピアベース) は、信頼性が高いとみなす情報に基づき作成していますが、J.P. Morganはその完全性・正確性を保証するものではありません。本指数は許諾を受けて使用しています。J.P. Morganからの書面による事前承認なしに本指数を複製・使用・頒布することは認められていません。Copyright 2016, J.P. Morgan Chase & Co. All rights reserved.

(注3) 海外の指数は、基準価額への反映を考慮して、現地前営業日の終値を採用しています。

(注4) 公社債組入比率は新株予約権付社債券 (転換社債券) および債券先物を除きます。

《運用経過》

◆基準価額等の推移について

【基準価額・騰落率】

期首：12,762円 期末：13,654円 騰落率：7.0%

【基準価額の主な変動要因】

インドネシア・ルピア建ての債券に投資した結果、為替相場は下落しましたが、債券価格が上昇したことが主な要因となり、基準価額は上昇しました。また、債券の利息収入は安定的に基準価額の上昇要因となりました。くわしくは「投資環境について」をご参照ください。

◆投資環境について

○インドネシア債券市況

インドネシア債券市況は、金利低下 (債券価格は上昇) となりました。

期の前半は、原油価格が下落したことにより世界経済の成長鈍化懸念や信用リスクの高まりからリスク回避的な動きが強まりましたが、インドネシアの経済成長の鈍化とインフレ圧力の低下から、政策金利の引き下げ期待により横ばい推移となりました。2016年1月より、インフレ圧力の低下を受けて中央銀行が利下げを開始したことを受けて金利が低下したほか、政府は経済成長の鈍化に対して景気対策パッケージを打ち出し景気浮揚を図っており、それがインドネシアへの投資姿勢を押し上げ、債券市況が上昇する材料となりました。期の後半は、原油価格の上昇などに金利が連れて小幅に上昇する局面もありましたが、中央銀行の緩和姿勢を受けて金利は安定的に推移しました。7月には、租税特赦法が成立したことで、税収が増えるとの見方が金利低下に寄与しました。また、インフレ率が継続的に低下していることが金利低下に寄与したほか、中央銀行が政策金利を引き下げており金利低下を後押ししました。

○為替相場

インドネシア・ルピアは対米ドルでは上昇、対円では下落しました。

期の前半は、原油相場をはじめ商品市況が下落したことにより新興国および資源国の通貨であるルピアは軟調となりましたが、2015年12月に米国の利上げを実施して以降は落ち着きを取り戻し、ルピアは相対的に堅調に推移しました。また、政府・中央銀行の景気・通貨対策も相場を下支えしました。期の後半は、米国の利上げ観測に左右される展開となりました。2016年6月の英国のEU (欧州連合) 離脱の国民投票結果を受けて、リスク回避姿勢の高まりからルピア安円高となりました。7月には、過度に悲観的な見方が後退し、国内では租税特赦法の適用が開始されたことで、資金還流期待が高まったことがルピア上昇に寄与しました。米国の利上げペースが市場予想に対し緩やかになるとの見方がルピア上昇の材料となりました。対円では、日銀の金融緩和政策に対し懐疑的な見方から円高が進行したことやFOMC (米連邦公開市場委員会) の利上げペースが緩やかになるとの見方から米ドル安円高が進んだため、ルピアは下落しました。

◆前期における「今後の運用方針」

インドネシアの政府および政府関係機関ならびに国際機関等が発行する債券に投資します。金利水準や物価の動向、経済情勢や市場環境等を勘案し、ポートフォリオを構築します。金利リスク、種別構成を柔軟に調整しつつ、投資妙味の高いインドネシア・ルピア建債券をポートフォリオに組み入れます。

◆ポートフォリオについて

インドネシア・ルピア建債券に投資し、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざしました。債券ポートフォリオ全体では、インドネシア国債の組み入れを高位に保ちました。また、国際機関債の組み入れも行ないました。残存構成としては、残存20年程度の長期債と残存2年程度の短期債を多く組み入れました。

ダイワ・インドネシア・ルピア債マザーファンド

◆ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークを設けておりません。

当期の当ファンドの基準価額と参考指数の騰落率は、「当期中の基準価額と市況の推移」をご参照ください。参考指数はインドネシア債券市場の動向を表す代表的な指数として掲載しております。

《今後の運用方針》

インドネシアの政府および政府関係機関ならびに国際機関等が発行する債券に投資します。金利水準や物価の動向、経済情勢や市場環境等を勘案し、ポートフォリオを構築します。金利リスク、種別構成を柔軟に調整しつつ、投資妙味の高いインドネシア・ルピア建債券をポートフォリオに組み入れます。

■ 1 万口当りの費用の明細

項 目	当 期
売買委託手数料	—円
有価証券取引税	—
その他費用 (保管費用)	26 (12)
(その他)	(14)
合 計	26

(注 1) 期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。費用の項目および算出方法については前掲の「1 万口当りの費用の明細」の項目の概要をご参照ください。

(注 2) 各項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

■売買および取引の状況
公 社 債

(2015年10月20日から2016年10月17日まで)

			買 付 額	売 付 額
			千インドネシア・ルピア 28,300,000	千インドネシア・ルピア 74,934,180 (—)
外 国	インドネシア	国債証券		
		特殊債券	85,594,000	31,985,000 (104,000,000)

(注 1) 金額は受渡し代金（経過利子分は含まれておりません）。

(注 2) () 内は償還による減少分で、上段の数字には含まれておりません。

(注 3) 単位未満は切捨て。

■主要な売買銘柄
公 社 債

(2015年10月20日から2016年10月17日まで)

当 期		期	
買 付		売 付	
銘 柄	金 額	銘 柄	金 額
	千円		千円
EUROPEAN BK RECONSTRUCTION & DEVELOPMENT (国際機関) 9.25% 2020/12/2	350,030	Indonesia Treasury Bond (インドネシア) 6.625% 2033/5/15	407,486
Indonesia Treasury Bond (インドネシア) 8.75% 2031/5/15	226,400	AFRICAN DEVELOPMENT BK. (国際機関) 7% 2017/3/6	240,000
INTER-AMERICAN DEVELOPMENT BANK (国際機関) 4.5% 2016/2/4	174,768	Indonesia Treasury Bond (インドネシア) 8.375% 2034/3/15	132,041
EUROPEAN INVESTMENT BANK (国際機関) 7.2% 2019/7/9	81,910	Indonesia Treasury Bond (インドネシア) 8.75% 2031/5/15	88,592
AFRICAN DEVELOPMENT BK. (国際機関) 7% 2017/3/6	78,312	EUROPEAN BK RECONSTRUCTION & DEVELOPMENT (国際機関) 4.23% 2016/12/12	15,880
INTER-AMERICAN DEVELOPMENT BANK (国際機関) 5.81% 2018/9/11	38,044		

(注 1) 金額は受渡し代金（経過利子分は含まれておりません）。

(注 2) 単位未満は切捨て。

■組入資産明細表

(1)外国（外貨建）公社債（通貨別）

作 成 期	当 期				末			
区 分	額 面 金 額	評 価 額		組入比率	うちBB格以下組入率	残 存 期 間 別 組 入 比 率		
		外 貨 建 金 額	邦貨換算金額			5 年 以 上	2 年 以 上	2 年 未 満
インドネシア	千インドネシア・ルピア 377,850,000	千インドネシア・ルピア 374,830,749	千円 2,998,645	% 96.6	% —	% 61.3	% 13.9	% 21.4

（注 1）邦貨換算金額は、期末の時価を対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートで邦貨換算したものです。

（注 2）組入比率は、純資産総額に対する評価額の割合。

（注 3）額面金額、評価額の単位未満は切捨て。

(2)外国（外貨建）公社債（銘柄別）

当期末									
区 分		銘 柄	種 類	年 利 率	額 面 金 額	評 価 額		償還年月日	
						外 貨 建 金 額	邦貨換算金額		
インドネシア		Indonesia Treasury Bond	国債証券	8.7500	千インドネシア・ルピア 15,000,000	千インドネシア・ルピア 16,928,250	千円 135,426	2031/05/15	
		Indonesia Treasury Bond	国債証券	6.3750	80,000,000	68,847,200	550,777	2042/04/15	
		Indonesia Treasury Bond	国債証券	6.6250	61,000,000	56,570,790	452,566	2033/05/15	
		Indonesia Treasury Bond	国債証券	8.3750	64,000,000	69,512,960	556,103	2034/03/15	
		Indonesia Treasury Bond	国債証券	8.7500	23,000,000	25,861,430	206,891	2044/02/15	
		EUROPEAN INVESTMENT BANK	特殊債券	7.2000	10,000,000	10,248,500	81,988	2019/07/09	
		EUROPEAN BK RECONSTRUCTION & DEVELOPMENT	特殊債券	4.2300	7,000,000	6,965,490	55,723	2016/12/12	
		EUROPEAN BK RECONSTRUCTION & DEVELOPMENT	特殊債券	9.2500	40,000,000	43,702,000	349,616	2020/12/02	
		INTER-AMERICAN DEVELOPMENT BANK	特殊債券	7.2500	30,000,000	30,031,800	240,254	2017/07/17	
		INTER-AMERICAN DEVELOPMENT BANK	特殊債券	4.1600	17,850,000	16,794,529	134,356	2018/05/24	
		INTER-AMERICAN DEVELOPMENT BANK	特殊債券	5.8100	20,000,000	19,379,200	155,033	2018/09/11	
		AFRICAN DEVELOPMENT BK.	特殊債券	7.0000	10,000,000	9,988,600	79,908	2017/03/06	
		合 計	銘柄数	12銘柄					
			金 額			377,850,000	374,830,749	2,998,645	

（注 1）邦貨換算金額は、期末の時価を対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートで邦貨換算したものです。

（注 2）額面金額、評価額の単位未満は切捨て。

■投資信託財産の構成

2016年10月17日現在

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
公社債	千円 2,998,645	% 95.9
コール・ローン等、その他	127,801	4.1
投資信託財産総額	3,126,447	100.0

（注 1）評価額の単位未満は切捨て。

（注 2）外貨建資産は、期末の時価を対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートで邦貨換算したものです。なお、10月17日における邦貨換算レートは、100インドネシア・ルピア＝0.80円です。

（注 3）当期末における外貨建純資産（3,073,998千円）の投資信託財産総額（3,126,447千円）に対する比率は、98.3%です。

ダイワ・インドネシア・ルピア債マザーファンド

■資産、負債、元本および基準価額の状況

2016年10月17日現在

項 目	当 期 末
(A)資産	3, 126, 447, 760円
コール・ローン等	52, 449, 537
公社債（評価額）	2, 998, 645, 996
未収利息	64, 758, 695
前払費用	10, 593, 532
(B)負債	22, 571, 566
未払解約金	22, 571, 566
(C)純資産総額（A－B）	3, 103, 876, 194
元本	2, 273, 176, 923
次期繰越損益金	830, 699, 271
(D)受益権総口数	2, 273, 176, 923口
1万口当り基準価額（C／D）	13, 654円

- *期首における元本額は3, 112, 922, 081円、当期中における追加設定元本額は312, 372, 277円、同解約元本額は1, 152, 117, 435円です。
- *当期末における当マザーファンドを投資対象とする投資信託の元本額は、ダイワ・インドネシア・ルピア債オープン（毎月分配型）2, 251, 437, 375円、ダイワ・インドネシア・ルピア債オープン（年1回決算型）21, 739, 548円です。
- *当期末の計算口数当りの純資産額は13, 654円です。

■損益の状況

当期 自2015年10月20日 至2016年10月17日

項 目	当 期
(A)配当等収益	202, 761, 340円
受取利息	202, 770, 890
支払利息	△ 9, 550
(B)有価証券売買損益	25, 169, 719
売買益	388, 232, 992
売買損	△ 363, 063, 273
(C)先物取引等損益	13
取引益	13
(D)その他費用	△ 6, 567, 936
(E)当期損益金（A＋B＋C＋D）	221, 363, 136
(F)前期繰越損益金	859, 898, 695
(G)解約差損益金	△ 349, 528, 376
(H)追加信託差損益金	98, 965, 816
(I)合計（E＋F＋G＋H）	830, 699, 271
次期繰越損益金（I）	830, 699, 271

- （注1）解約差損益金とは、一部解約時の解約価額と元本との差額をいい、元本を下回る場合は利益として、上回る場合は損失として処理されます。
- （注2）追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。